

## 和歌山大学

馬瑞 (中国・交換留学生・山東師範大学)

和歌山へ来て、あっという間に、三ヶ月がすぎました。和歌山大学での留学生活は本当に楽しいです。



本州の南の和歌山県は太平洋側にあります。四季がはっきりわかれていますが、一年中は湿潤で、住み心地よいところです。気候に恵まれて、植物も青々としています。山は緑の木々に覆われています。和歌山大学は和歌山県の和歌山市内にあります。山の上に建てられている建物は緑の木々に映えていて、まるで童話の城のようです。春になると、キャンパスに桜がいっぱい咲いて、ロマンティックな彩りを添えます。それに、

システム工学部の建物の一番高いフロアの窓から、和歌山市全体が見渡せます。ここで勉強して、疲れたときは、外の広い景色に目をやるのは、このうえない気分転換です。

和歌山大学の国際教育研究センターはまるで私たち留学生の実家みたいな所です。何か困ったことがあったら、先生たちに相談すると、すぐ解決してくれます。それに、先生たちはみんな親切ですし、私たちの友達のような存在です。センターの中では自由に使える一コンピューターとプリンタが備わっています。コンピューターの向こうに机と椅子が配置されていて、授業のないときはここでおしゃべりしたり、昼ごはんを食べたりします。センターの中に留学生のための電子レンジもあります。ドアの両側の棚は、留学生が自分の名前の書いたカードを貼って、自分の物を置いています。センターのおかげで、私たちの勉強生活は、快適です。

今、私の住んでいるところは、和歌山大学の国際交流会館です。県立図書館のすぐそばにあります。交流会館は四階で、二十四の部屋があります。家賃はすごく安いです。部屋のなかには、バスルーム、台所、冷蔵庫、本棚、テレビ、机、椅子、ベット、エアコンがあります。一番気に入ったのは、窓の外のベランダです。ベランダに立って、目の前の木と向こうのチューリップが映えていて、美しいです。鳥もよくその木の枝で、自分の歌に合わせて、踊っています。その景色を味わうのは一日の中で生活の気晴らしになります。

国際交流会館は、県立美術館と県立博物館に近いです。留学生は無料で入館できます。私は何回もいきました。センターの長友先生は、博物館と美術館に留学生に説明して下さるよう連絡してくださいました。それに、連れていってくれる先生もいました。

和歌山大学の留学生の面倒を見てくれているボランティアの先生も多いです。ボランティアの

組織は WIN やキワニスなどです。中国から、和歌山大学に着いたばかりの夜、ボランティアの先生がわざわざ私たち三人に電気炊飯器を送ってくれました。翌日、自転車も送ってもらいました。生活は、何か困ったことがあったら、相談してねという話を聞き、感動しました。時々、ボランティアの先生が、ご馳走してくれることもあります。日本人の普通の家庭生活を体験させてもらいます。それに、学習生活もボランティアの先生が助けてくれます。先生と一緒に日本語で話し合ったり、日本文化、風俗について、授業を進めたりします。私に日本語を教えてくださいっているボランティアの先生は、出口紀美先生です。出口先生は、和歌山県立第二工業高校の図書館の司書です。すごく優しい先生です。図書館で一緒に日本語の文化について、話したり、日本の有名なお菓子を食べさせてもらったりします。

大学の中でも、留学生の面倒を見てくれる日本人の大学生のボランティア組織もあります。私は、あおいというかわいい日本の女の子とペアに

なって、一緒に遊んだり、話し合ったりします。分からないことや、困ったことがあったら、同じ年の優しい彼女と相談したら、気持ちもよくなります。

このような大学に留学できたのは、ラッキーだと思います。友達もたくさんできますし、いろいろ体験できますし。それに、困ったことがあれば、すぐ解決してくれます。私の留学生活は、あと9ヶ月しかないです。大切にしたいです。

